

CMも重要な役割を果たした ユンケル50年の主な歴史

- 1967年 「ユンケル黄帝液」 発売
- 1977年 「ユンケル黄帝ゴールド」 発売
- 1978年 初のユンケルCM放映・ガッツ石松氏
- 1985年 **タモリ氏をCMに起用
国民的な疲労回復ドリンクへ**
- 1989年 「ユンケルファンティー」 発売
- 1996年 「ユンケルスター」、カフェインを含まない「ユンケル黄帝液DCF」を発売
- 2002年 **イチロー選手のCM放映開始
若者や海外にもアピール**
- 2006年 シアトル・マリナーズ「セーフフィールド」球場内にて「ユンケル」広告を掲出
- 2009年 ユンケルシリーズ初、アルミ缶ボトル「ユンケルローヤルS」発売
- 2010年 カフェインフリーの「ユンケル黄帝L40DCF」発売
- 2015年 カフェインフリーの「スパークユンケルDCF」発売
プレミアムエフェクト処方「ユンケル黄帝液プレミアム」発売
- 2017年 **ユンケル黄帝液発売50周年**
「ユンケル黄帝液が50周年を迎えられたのは、ひとえに多くの方に愛飲していただいたことに尽きると思います。これまで50年間、日本の疲れと向き合ってきた。時代の変化に合わせ、様々な疲れに対応するため、多くのラインアップを拡充して参りました。今後も日本の疲れと真摯に向き合い、お客様に喜んでいただけるように製品開発を行ってまいります」(佐藤製薬)



1985年にはタモリ氏がCMに登場。多数のCMに起用され、「Mr.ユンケル」と親しまれた



2002年からは、ターゲットとして若者や海外市場も見据え、イチロー選手をCMに起用している

ユンケルローヤルS
指定医薬部外品
100ml
希望小売価格250円(税別)
コンビニエンスストアで販売するユンケルローヤルシリーズの中の1本。手軽に購入できる

スパークユンケルDCF
第2類医薬品
50ml
希望小売価格300円(税別)
「カフェインの取りすぎが気になる方、就寝中に疲労を回復させたい方、風邪薬と併用される方などに向けてカフェインフリーの製品もそろえています」(佐藤製薬)

世界6カ国・地域で展開 グローバルブランドへ

現在、ユンケルは、アメリカ、台湾、ドイツ、香港、シンガポール、タイの世界6カ国・地域でも販売されている。始まりは、2004年秋から発売された統一処方の海外向けユンケルで、本格的な処方を求める海外からの声に応えるため、「ユンケル黄帝液」をベースにしている。「近年は日本のドラッグストア企業のASEAN地域への進出速度が急激に上がっているため、その流通網を通して、より多くの方々に飲んでいただきたいと考えています」(佐藤製薬)。



左から米国向けの「ユンケルスーパーグランド」「ユンケルスーパーロイヤル」「ユンケルエナジー」、台湾向けの「ユンケル黄帝液」「ユンケル黄帝L」、タイ向けの「ユンケル黄帝液」。どの国・地域のパッケージも日本と同様にゴールドが基調

現代の複雑化した疲れに ユンケル黄帝液プレミアム

2015年には、今までの処方設計の考え方を変えた「ユンケル黄帝液プレミアム」を発売。ユンケル黄帝液の効果はそのままに、ストレスや内臓疲労などに作用する5種類の生薬を新たに配合し、複雑化する現代人の疲れにおすすめだ。

ユンケル黄帝液プレミアム
第2類医薬品
滋養強壯、肉体疲労時やかぜなどの発熱性消耗性疾患時の栄養補給。大人(15歳以上)1回1本を1日1回服用します
30ml
希望小売価格1000円(税別)



ロングセラー & 定番新潮流 Vol.40

ユンケル黄帝液 (佐藤製薬)

発売50周年を迎える「ユンケル黄帝液」。高度経済成長とともに人気を獲得し、今も年間約1670万本(※1)と好調な売れ行きだ。ターゲット層も、働き盛りの世代はもとより、若者や女性に拡大し、世界にも飛躍している。

ロングセラーを支える3つのこだわりとは?

こだわり① 長年のノウハウに基づく「バランス処方」
「発売50周年を迎えられたのは、効き目にこだわって開発し、服用した方にもそれを実感していただけたこと、そしてさらに口コミや薬剤師の方々の紹介でその効き目が広がっていったことが大きいと思います」(佐藤製薬)。
その効き目を支える3つのこだわりのうちの1つが「バランス処方」。ユンケルには、食事だけでは不足しがちなビタミンや疲れた体をパワーアップする生薬を配合している。佐藤製薬は古くから伝承されてきた何百種類もの生薬を自社の薬理試験によって科学的に評価し、ターゲットとなる疲れに合わせて最も効果的と思われるバランスで組み合わせている。



代表的な配合生薬「ゴオウ」

こだわり② 鑑定士が認めた「高品質な生薬」だけを使用

ユンケルに配合されている生薬は、栽培、収穫、入荷から選別までを徹底管理し、鑑定士によって品質が確認されている。適切な環境で保管された後、それぞれに合った方法でいかに抽出。高品質な原料を、先進の設備で製剤化することで、生薬のすぐれた効果を提供している。



産地では品質確認・技術指導を行う 収穫された生薬の品質を確認

こだわり③ 「独自のノウハウと先進技術」で製造

生薬エキス、ビタミン類を混合して作るタイプ別の薬液の調合(調製)から、薬液の充填・検査、製品の包装・梱包に至るまで、長年のノウハウを生かした独自の製法と先進技術によって、ユンケルは製造されている。



独自のノウハウと先進の技術で製造されるユンケルシリーズ

技術と信頼感が支えた半世紀 イチローCMで若者、女性にも

2017年10月で「ユンケル黄帝液」(佐藤製薬)は、発売50周年を迎える。1967年の発売から50年。「国内外を問わず、複雑化、多様化する生活者の疲れやライフスタイルに対応するため、生薬の研究を強化し、生活者のニーズにフィットする1本を目指して進化してきた」(佐藤製薬、以下同)ことが評価され、疲れと戦う人々に支持されるロングセラーとなっている。

「開発当時、日本は高度経済成長期で、疲れに対する『効き目』や『即効性』を求めるニーズが高かったことにより、それまでのビタミン中心の栄養ドリンクとは違う滋養強壯ドリンクとして発売しました。より効き目を感じていただけるように、ピリッと辛い味わいになりました」。

名前の由来はドイツ語の「ユンカー」(貴公子)と、古代中国の権力者で医学の祖とされる「黄帝」から。特徴は、肉体疲労、病中病後、かぜなどの発熱性消耗性疾患時の栄養補給を念頭に、7つの生薬と各種ビタミンをバランスよく配合したことだ。さらに生薬の品質や先進の製造技術にもこだわっている(下記のこだわり①②③を参照)。

大ヒットのきっかけは1985年のタモリ氏のCM出演だ。「タモリさんは以前からユンケルのファンで、番組中に自身の「ユンケル黄帝液体験談」を披露していただいたことをきっかけに、CMキャラクターとしての起用に

なりました。ユンケルのイメージは中高年男性の強精強壯剤から疲労回復ドリンク剤へと拡大しました」。

2002年からはイチロー選手をCMに起用。「メジャーリーグ入団2年目 MVPと新人王を同時受賞したスーパースターの起用は「がんばる前に飲む」というポジティブな服用スタイルを訴求するため。前向きに立ち向かう姿により、若者、女性、スポーツをする人など幅広い層の認知度が高まり、新しい服用スタイルも定着してきました」。

50年の歴史の中で、商品バリエーションも増やし、全36種類を展開する。「1999年の規制緩和により、コンビニなどで発売を開始したユンケルローヤルシリーズも、手軽にお買い求めいただけるので、若者世代への浸透に役立っていると思います。就寝中に疲労回復したい人に向けてカフェインフリータイプもそろえています」。

今後はアクティブシニアの活躍も期待される日本。「ユンケルは、病中病後、食欲不振などの場合の栄養補給にも活用いただけますので、毎日の暮らしの中で疲れを回復しようというセルフメディケーションのきっかけとなれば幸いです」。海外展開にも力を注ぎ、アメリカでサプリメントドリンクとしての認知度を高めること、成長が見込めるアジア、東南アジア諸国連合(ASEAN)での展開と認知度アップを目指すと述べている。

50年前に誕生したユンケルは、日本そして世界における健康志向の高まりや高齢化を背景に、世界中にユーザーを広げている。